

目標達成計画

事業所名 グループホームクララ梅田

作成日: 平成 26年 3月 10日



目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所理念の意味を現状では、全職員が理解出来ていない。	事業所独自の理念(家庭的な雰囲気、入居者の能力に応じた自立支援、人格の尊重、地域との関わり)の意味を確認し合い、振り返り、職員間で共有し、実践に取り入れて行く。	ホーム内での会議の時に、理念の意味の確認を行う。 利用者の尊厳の保持を行いつつ、問題があった時は、都度振り返り、職員間で共有し、理念の意味を確認していく。	6ヶ月
2	4	固定化された運営推進会議になりつつある。	地域の代表(区長・隣組長など)の参加の声掛けを図り、色々な幅広い人達の意見気づきを反映した運営推進会議を実施し、ケアに繋げて行く。	隣組長の入れ替えがある為、新しい隣組長さんへの声掛けを行い、運営推進会議のお知らせをすると同時に、回覧板で回して頂き、自治会組合員の会議への参加もお願いし、幅広い人達の意見を取り入れる。	6ヶ月
3	35	火災などの災害に対しての地域との具体的な協力体制の構築が出来ていない。	区長、町会長さんへの声かけを行い、災害時の協力をお願いする。 (民生委員さんの協力もお願いする)	個人情報の配慮を行い、地域にとっての事業所の役割や事業所の状況の理解をして頂き、災害時の協力体制をお願いしていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

NO. 2971 P. 2
2014年 3月23日 10時56分
グループホーム クララ梅田